

# 国家試験免除 第一級陸上特殊無線技士【1陸特】養成課程 eラーニング募集案内

弊社は総務省東海総合通信局の認定を受け、通年 eラーニングによる第一級陸上特殊無線技士(1陸特)の養成課程を実施しております。以下 eラーニング養成課程の受講者募集案内をさせていただきます。

## 1. この養成課程の概要

無線従事者養成課程は、「規定のカリキュラムをすべて受講し、修了試験に合格すると国家試験合格と同等の扱いとなり、無線従事者免許が受けられる制度」です。「免許が取得できる講習」とお考えください。

この養成課程eラーニングは、インターネット接続可能なパソコン、タブレット、スマートフォン等の通信端末で eラーニングによりカリキュラムの全受講を行うことができます。陸上の無線に関する「無線工学」「法規」について時間があるときに基礎から学ぶことができます。

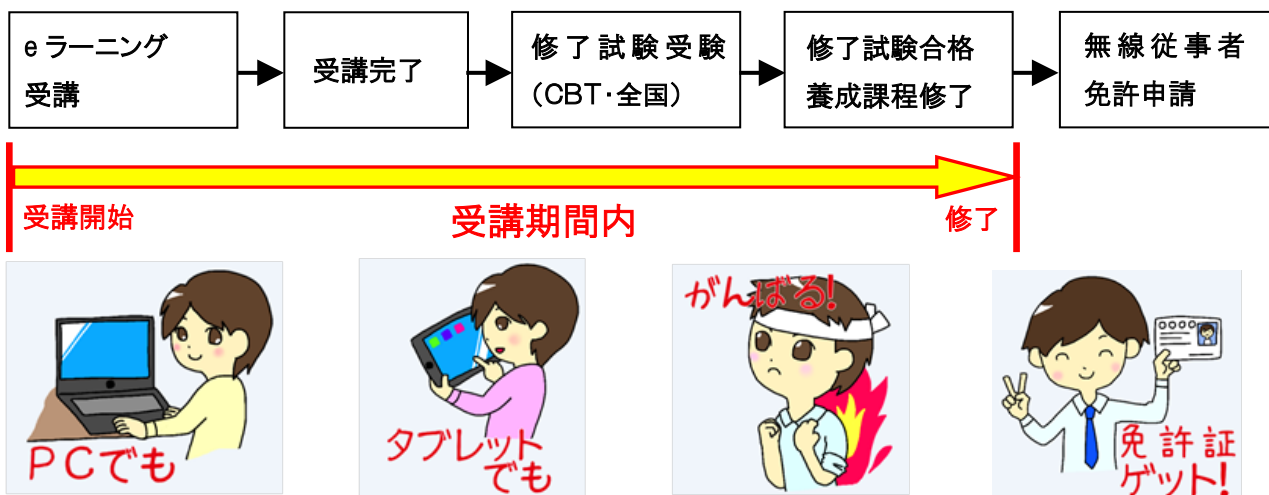
また、受講を完了した後の修了試験はCBT方式(試験会場のパソコンに解答を入力する方式)により全国300箇所以上の試験センターで受験が可能です。修了試験に合格されますと「養成課程修了」となり、無線従事者免許申請を行うことができます。

修了された方は、引き続き弊社から管轄の東海総合通信局に受講者様の無線従事者免許申請を行い、公布された免許証をお渡しするまでを一連で行います(資格は全国で有効です)。

また、無線設備の操作の用途とは異なりますが、アマチュア無線技士を除く無線従事者資格の取得者は、その資格により甲種消防設備士(特類を除く)の受験が可能です。

**この養成課程の受講には学歴等の受講要件が必要ですが、事前に、【選抜試験】に合格された方はどなたでも受講が可能となります(3a から4bをご参照ください)。**

・受講開始から免許証受領までの流れ(事前の選抜試験の流れは4aをご参照ください。)



## 2. 第一級陸上特殊無線技士の資格操作範囲について

「第一級陸上特殊無線技士」の資格によって操作できるのは次の範囲です。

- (1) 陸上の無線局の多重無線設備の技術操作(30メガヘルツ以上、空中線電力 500 ワット以下)
- (2) 第二級陸上特殊無線技士の操作の範囲に属する操作(3陸特・2陸特の範囲も操作できます。)

※20. 補足 (この案内の最後に記載)もご参照ください。

### 3a. 養成課程の受講資格

当該養成課程は公募型養成課程(弊社が主催・募集)とし、受講資格要件は次のいずれかの条件(【**学歴**】又は【**通信士**】又は【**業務経歴**】又は【**選抜試験**】)を満たし、かつ、3bの条件(1)及び(2)を満たす方です。「学校教育法第 1 条に規定する高等学校若しくは中等教育学校(電気科又は電気通信科に限る。)を卒業した方又は次のいずれかに該当する方」

#### 【**学歴**】

- (a) 学校教育法による、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校又は中等教育学校(高等学校又は中等教育学校の電気科又は電気通信科を除く。)の電気通信に関する課程を有する学科を卒業した方。
- (b) 学校教育法による大学の電気通信に関する課程を有する学科を 1 年次以上修了した方又は高等専門学校の電気通信に関する課程を有する学科を 3 年次以上修了した方。
- (c) 入学資格を学校教育法第 57 条に規定する方とする修業年限が 3 年以上の学校((a)に掲げるものを除く。)の電気通信に関する課程を有する学科を卒業した方。
- (d) 入学資格を学校教育法第 90 条に規定する方とする修業年限が1年以上の学校等((a)又は(b)に掲げるものを除く。)の電気通信に関する課程を有する学科等を卒業し又は修了した方。(「修了した方」については、1年次以上を修了した方に限る。)

※学歴の場合は、文部科学省所管の高校、高専、高卒の専門学校、大学が基本とお考えください。

文部科学省所管以外の学校(職業訓練校、ポリテクカレッジ等)、各種学校は含まれません。

※文部科学省所管の高校、高専、高卒の専門学校、大学において、学科名に「電気」「電子」「通信」が付く学科をご卒業の方は、「電気科」又は「電気通信科」でなくとも要件を満たす場合がありますので、事前に弊社までご相談ください(成績証明書等で必要単位が確認できた方は受講可能となります)。

#### 【**通信士**】

- (e) 第二級総合無線通信士、第三級総合無線通信士、第一級海上無線通信士、第二級海上無線通信士、第四級海上無線通信士又は航空無線通信士の資格を有する方。

※「第三級海上無線通信士」以外の「無線通信士」とお考えください。

#### 【**業務経歴**】

- (f) 当該認定の申請前 5 年以内に通算して 3 年以上(学校教育法による高等学校又は中等教育学校を卒業した方((a)に掲げるものを除く。)及びこれに準ずる方の場合は、1 年以上)多重無線設備の保守の補助又は搬送端局設備若しくは電力線搬送端局設備の保守に従事した経歴を有する方。  
この場合において、高等学校を卒業した方に準ずる方は、学校教育法第 90 条第 1 項に規定する大学に入学することができる者とする。

※実際に上記無線局の保守の補助、又は保守の業務を行った経歴の証明書(免許人の印が必要)をご

提出いただく必要がございます。提出の様式は、弊社にお問い合わせください。

**【選抜試験】**

**(g) 第一級陸上特殊無線技士の資格に係る選抜試験(弊社にて実施)に合格した方。**

**※弊社が実施する「選抜試験」に限ります。(4a. に記載)**

3b. 修了試験時・選抜試験時の証明書及び受講環境の条件

(1) 修了試験(含む選抜試験)の受験時に必要な、次のいずれかの「身分証明書(写真付き)」を所持しており、試験会場で提示可能な方(以下の15種類のものが利用可能です)。

- ・運転免許証                      ・小型船舶操縦免許証                      ・パスポート
- ・写真付き住民基本台帳カード
- ・個人番号カード(マイナンバーカード。表面のみを参照して使用します。)
- ・無線従事者免許証(ただし、免許の年月日又は交付年月日(再交付の年月日を含む)から10年以内のものに限る。)
- ・工事担任者資格者証(同上)
- ・運転経歴証明書(同上)
- ・電気通信主任技術者資格者証(ただし、免許の年月日又は交付年月日(再交付の年月日を含む)から10年以内のものに限る。)
- ・危険物取扱者免状(写真の有効期間内のもの)      ・消防設備士免状(同左)
- ・在留カード(写真付き。日本国政府発行のもので有効期間内のものに限る。)
- ・特別永住者証明書(同上)
- ・学生証・生徒証(写真付きに限る)及び保険証
- ・学生証・生徒証(写真付きに限る)及び住民票

(2) インターネット回線及びインターネット接続可能なパソコン、タブレット、スマートフォン等の端末が利用可能であり、インターネット接続のスキル(WEBアクセス、ID及びパスワード入力、画面をクリックして項目選択等が可能)を有する方で、**受講申込時に、次の①、②にいずれも該当しない方**

**① 電波法に規定する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり又はその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない方**

**② 第一級陸上特殊無線技士又は旧資格(特殊無線技士 多重無線設備)を取得されている方**

#### 4a. 受講資格要件を満たさない方のための選抜試験及び事前学習(eラーニング)実施

前記3aの受講要件を満たさない方は、弊社が実施する選抜試験に合格されれば養成課程が受講可能となります。(学校でいえば「入学試験」のようなものです)

※ただし、選抜試験の受験期限(及び事前学習期限)は、お申込み受付から6か月後の月末までです。

期間内に受験が必要です。

選抜試験のお申込みをいただき、受付後には事前学習(eラーニング)用ID・パスワードと受験チケット番号をお知らせいたしますので、下記の(1)から(6)の流れで学習・受験していただけます。選抜試験に合格された場合、弊社(ベータテック)の1陸特(第一級陸上特殊無線技士)養成課程の受講資格が得られます(有効期間は合格から1年間)。また、選抜試験の事前学習並びに選抜試験は、数学・電気物理・電気回路・電子回路の学習目的としてご利用いただいてもかまいません。

##### (1)選抜試験(事前学習eラーニング及び試験)申し込み

次のリンクから、申込みフォームを開いていただき、必要事項をご入力ください。弊社で申込内容を確認後、受けとご請求関連の処理をさせていただきます(平日日中の対応となります)。

あらかじめ弊社(PC)からの電子メール(@b-tec.jp)が受信できる設定にしておいてください。

選抜試験受験及びeラーニング受講費用 ¥5,500(税込)です。

・申込みフォーム [https://www.b-tec.jp/cgi-bin/rikutoku/regist/senbatsu\\_regist.html](https://www.b-tec.jp/cgi-bin/rikutoku/regist/senbatsu_regist.html)

##### (2)ID及びパスワード通知

事前学習はeラーニングを利用し、選抜試験を受験するための基礎(テキスト)及びテスト(問題演習)ができます。ID及びパスワードを電子メールで通知しますので、ログインして事前学習を行ってください。

※事前学習は、学習の管理はされません。

##### (3)選抜試験予約(CBT)

選抜試験受付後に、(2)に併せて CBT 試験予約チケット番号をご連絡させていただきますので、受験者様ご自身の都合がよい日時で選抜試験の受験予約を行っていただきます(有効期間内に限ります)。

※試験時間が2時間と長いため、希望会場と希望時間帯をなるべくお早めに予約してください。

##### (4)選抜試験受験

選抜試験は(株)CBTS(シー・ビー・ティ・ソリューションズ)の CBT 試験会場(全国 300 箇所以上)で受験できます。CBT はパソコンに解答を入力する試験です。

※会場ではご本人確認のため、必ず証明書が必要です。3b(1)、11、12. もご参照ください。

※計算問題用の用紙・筆記用具は会場で支給されます。これらは試験後に回収されます。

##### (5)試験結果連絡

試験結果は試験の翌日に電子メールでお知らせします(合否にかかわらずご連絡します)。合格された方は養成課程の受講申込みができます。

##### (6)養成課程の受講申込み

選抜試験合格の方には「合格通知書」としてお知らせしますので、養成課程受講申込みの際は申込みフォーム([https://www.b-tec.jp/cgi-bin/rikutoku/regist/1rikutoku\\_regist.html](https://www.b-tec.jp/cgi-bin/rikutoku/regist/1rikutoku_regist.html))の受講資格欄の4に、通知書番号と有効期間を記載し、お申込みください。※有効期間は試験日(合格日)から1年間です。養成課程の受講開始日が選抜試験合格通知書の有効期間内であれば受講できます。

## 4b. 選抜試験の内容

選抜試験の内容は高等学校の電気科程度の内容で、次の通りです。事前学習のeラーニングでこの内容のテキストとテストが提供されます。

## ・選抜試験の実施基準

試験項目	試験内容	試験問題	試験時間	合格点	備考
数学	(1) 代数(二次方程式、複素数、不等式及び対数) (2) 三角関数(加法定理、二角の和及び差の正弦余弦の積、二倍角及び半角の公式並びに正弦余弦の乗積公式) (3) 微分積分の初歩(関数の極限、微分法、極大極小及び積分の基礎公式)	6問 各問5点	2時間	60点	高等学校又は中等教育学校の電気科又は電気通信科卒業程度 注
電気物理	(1) 静電気(電界、クーロンの法則、静電誘導、コンデンサ及び静電容量) (2) 電流(オームの法則、ジュールの法則及び抵抗率) (3) 電流の磁気作用(右ねじの法則、ビオ・サバールの法則、電磁誘導、フレミング右手の法則及びインダクタンスの計算)	4問 各問5点			
電気回路の基礎	(1) 直流回路(電流の接続、抵抗の接続及びキルヒホッフの法則) (2) 交流回路(基本交流回路、直並列回路、共振及び相互インダクタンス)	6問 各問5点			
電子回路の基礎	(1) 増幅作用(原理、回路動作、等価回路並びに電圧及び電力増幅) (2) 発振作用(原理及び発振器) (3) 変調作用(変調波の種類、振幅変調の原理及び周波数変調の原理) (4) 復調作用(原理(振幅変調波の復調及び周波数変調波の復調)) (5) 整流作用(原理、種類及び平滑回路)	4問 各問5点			

注 問題の形式は、多肢選択方式(択一式、補完式、正誤式、その他設問に対する正答を解答肢の中から選択する方式をいう)とする。なお、採点方法は「無線従事者の養成課程の終了の際に行う試験の実施方法(平成2年郵政省告示第250号)」に従う。



## 5. 養成課程の受講期間、標準的な受講期間

受講者の受講開始日から修了試験(追試験を含む)の合格日までは8ヶ月以内です。尚、全受講を完了されないと修了試験を受けることができません。期間内に受講を完了されない場合は失格となり免許が得られなくなります。また、修了試験不合格の場合は、規定の再受講の完了後に一度のみ、追試験が受けられます。(要追試験料)

## 6. 養成課程の授業科目及び授業時間(規定時間数による)

養成課程の資格	授業科目	授業時間
第一級陸上特殊無線技士	無線工学	48時間
	法規	6時間

※上記の実際の授業時間は、学習ペースにより、これらよりも長くなる可能性があります。

## 7. 養成課程の受講に必要なシステム

養成課程の受講はeラーニングのシステムを使います。eラーニングに必要なシステムは次の通りです。

- (1)利用可能なインターネット回線(有線LAN、無線LAN等)
- (2)インターネット接続ができ、ブラウザソフトでホームページが閲覧可能であり、電子メールの送信・受信が可能なパソコン、タブレット、スマートフォン等の通信端末

※電子メールアドレスがeラーニングの受講IDとなるため、電子メールアドレスがないと受講できません。また、受講には1名様毎に異なる電子メールアドレスが必要です。お申込みいただく際の申込書には、受講者本人のみが使用する電子メールアドレスを必ず記載してください(スマートフォンのアドレスも可ですが、PCからのメールが受信できないと受講いただけません)。

※このeラーニングでは、オンラインのテキストのみのご提供となります(印刷版テキスト、ファイル等のお渡しはありません)。

## 8. 養成課程受講申込・受付・受講開始・必要書類送付まで

- (1)養成課程受講のお申し込みは、弊社ホームページのリンクから申込みフォームを開いていただき、必要事項をご入力ください(選抜試験のお申し込みは下記ではなく4a(6)のお申し込みになります)。

申込みフォーム [https://www.b-tec.jp/cgi-bin/rikutoku/regist/1rikutoku\\_regist.html](https://www.b-tec.jp/cgi-bin/rikutoku/regist/1rikutoku_regist.html)

あらかじめ弊社(PC)からの電子メール(@b-tec.jp)が受信できる設定にしておいてください。

また、【学歴】・【通信士】・【業務経歴】の受講資格の方は、弊社の受付後に、各証明書のコピー(画像)を電子メールに添付してお送りいただき、内容を確認させていただきます(スキャン又は携帯撮影画像)。

【学歴の方:卒業証明書又は成績証明書(ご出身の学校から取得してください)のコピー、  
通信士の方:免許証(写真の面)のコピー、業務経歴の方:取得された証明書のコピー】

※学歴の方は、受講開始後に卒業証明書又は成績証明書の原本を他の書類とともに弊社にお送りいただきますので、保管をお願いいたします。※お申込の受付処理は平日9:30~18:00となります。

- (2)弊社にて申込内容を確認させていただき、請求のご連絡をさせていただきます。お支払い期日までに受講料をお支払いください(銀行振り込みです。手数料はご負担願います)。

(3)弊社にてお振り込みが確認でき、(1)の証明書類の内容が確認できましたら、eラーニングの受講IDを発行し、受講ガイドを送付させていただきます。eラーニングの受講ID等は電子メールにて通知させていただきますので、受信次第、受講を開始してください。

※受講開始希望日ありの方は、受講開始希望日になるとeラーニングの受講IDが使用可能になります。

(4)(3)の到着後、基本的に14日以内に下記の書類を弊社に郵送いただきます。

- ・証明写真(同じもの2枚分 縦3cm×横2.4cm 裏面に氏名・生年月日をメモ)
- ・記入済の無線従事者免許申請書、及び申請に必要な書類(住民票等)

#### 9. 受講中の質問、問い合わせ等の対応

ご質問は弊社担当まで電子メールにてお送りください。弊社より電子メールにて回答させていただきます。

#### 10. 受講完了から修了試験受験まで

eラーニングによる受講開始後、受講完了された方は、修了試験受験を希望する旨を弊社にご連絡いただき、弊社で受講完了が確認された場合はCBTの修了試験予約用のチケット番号をご連絡いたします。

※受講完了条件やチケットの発行等については、受講開始後にご案内いたします。

CBTの修了試験を受験される方は、予約前に(株)シー・ビー・ティ・ソリューションズ(CBTS)にユーザー登録を済ませていただき、システムにログインの上、会場並びに日時選択による受験予約を行っていただきます(CBTSの他の試験を受験されたことがある場合は、その際のIDとパスワードが利用できます)。

※第一級陸上特殊無線技士の修了試験は計2時間20分と長くなりますので、都合のよい会場及び時間帯を予約するには、受講完了後、予約を早めに行ってください。

<https://cbt-s.com/index.html>

受験予約を変更される場合は、必ず事前にCBTSのシステムで予約変更処理を行っていただきます。(予約変更なく試験を欠席された場合は不合格となります。)

特に(諸事情で)、筆記による修了試験を希望される場合は、会場は名古屋市天白区、東京都荒川区、横浜市港北区の3会場のみとなります。筆記試験の手配等は事前調整が必要になるため相談の上、個別対応とさせていただきます。

#### 11. 試験会場における身分証明書確認

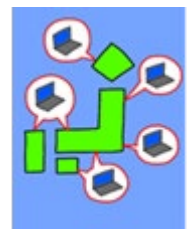
受講者本人以外の受験防止のため、試験会場では、修了試験の場合・選抜試験の場合ともに当日3b.(1)の身分証明書の現物を確認させていただきます。

#### 12. CBTの修了試験会場(選抜試験会場も同様)

試験会場は、全国300箇所以上となります。詳細は、次のサイトをご参照ください。

<https://www.cbt-s.com/examinee/testcenter/>

※こちらのリンクにアクセスし、右上の「試験会場空席照会」をクリックし、試験選択で「特殊無線技士」を選択してください。表示された試験名で「SRB-02 第一級陸上特殊無線技士養成課程の修了試験」を選択し、会場の条件、日程を選択すると、試験実施の状況を見ることができます。



## 13. 修了試験の受験科目及び試験時間、合格基準(電波法関係の告示による)

養成課程の資格	試験科目	試験時間	合格基準
第一級 陸上特殊無線技士	無線工学	1時間30分	ともに 60点以上/100点満点
	法規	50分	

※修了試験では、受講した内容の中から問題が出題されます。

※修了試験は、選択式の問題が出題されます。

※無線工学及び法規の試験は、全体で2時間20分の試験時間として実施されます。

問題数は無線工学:20問、法規:10問です。

## 14. 修了試験に不合格となった場合

修了試験に不合格となった場合は、規定による再受講を行っていただき、再受講が完了していれば、修了追試験が受験できます(有料)。修了試験時同様に、CBTによる受験が可能です。

※再受講の条件は、受講開始後にご案内いたします。

※修了試験が不合格の場合、受講者は1回のみ修了追試験を受験することができます(ただし、修了追試験の受験・合格も受講期間内に行なわなければなりません。)

## 15. 修了試験又は修了追試験合格後、免許証交付まで

受講期間内に修了試験、又は修了追試験に合格された場合は、ご提出いただいた書類により、弊社から管轄の東海総合通信局に免許申請を提出いたします。

免許証が交付されるまでは最長でおよそ6週間を要します。免許証は弊社から送付させていただきます。

## 16. 受講期間内に修了できなかった場合

受講期間以内に修了試験合格に至らなかった場合は失格となり、免許が受けられなくなります。失格後は弊社の規定により、新たな期間(正規の受講期間以内)で再受講いただくことが可能です(追加費用が必要です)。また、失格後、再受講をされない場合は、受講料のうち未使用分の金額をご返金させていただきます。

追加料金による再受講、及び失格後のご返金の金額は、失格後に受講者様あてにご連絡させていただきます。ただし、追加料金及びご返金は失格の日から1ヶ月以内の申し出に限り有効となり、1ヶ月を超えた申し出の場合は、新規の受講扱い(料金)とさせていただきます。

## 17. 受講料等(1名様あたり)

48,225円(税込) ※受講料には、修了試験代(1回分)、無線従事者免許申請の印紙代を含みます。

※修了試験不合格の方は、別途 修了追試験受験料 4,950円(税込) がかかります。

※過去に、弊社の養成課程(eラーニング又は講習会)を受講された方(失格の場合を除く)は、申込フォームに記載いただくと事務手数料(税込¥2,200)を割引きます【複数資格の場合はいずれか1つのみを割引適用いたします】。



18. 選抜試験(eラーニングによる事前学習を含む)費用 (1名様・受験1回あたり)  
5,500円(税込) ※選抜試験不合格後の再受験は、再受験の都度費用がかかります。

19. お申込み・問い合わせ先(弊社連絡先)

・1陸特養成課程eラーニング申込みフォーム

[https://www.b-tec.jp/cgi-bin/rikutoku/regist/1rikutoku\\_regist.html](https://www.b-tec.jp/cgi-bin/rikutoku/regist/1rikutoku_regist.html)

・選抜試験受験の申込みフォーム

[https://www.b-tec.jp/cgi-bin/rikutoku/regist/senbatsu\\_regist.html](https://www.b-tec.jp/cgi-bin/rikutoku/regist/senbatsu_regist.html)

お問い合わせは、株式会社ベータテック 1陸特eラーニング担当まで お願いいたします。

**電子メール** 1riku(at)b-tec.jp **電話番号(養成課程担当)** 052-893-9935

※電子メールおよび電話でのお問い合わせのご対応は平日 9:30~18:00 となります。

※迷惑メール防止の対策をしております。(at)の部分を@に変更の上、お送りください。

20. 補足

**第一級陸上特殊無線技士で操作可能な設備等の例(次の①~③の操作が可能です)**

① 第三級陸上特殊無線技士で操作可能な設備の例

- ・**各種業務用無線**… 消防無線、警察無線、鉄道無線、防災行政無線、タクシー無線(配車)、アマチュア無線のガイダンス局 等
- ・**実験試験局・特別業務の局(一部)**… 通信抑止装置(劇場等の携帯電話抑止装置)、山岳遭難捜索システム(ディテクター) 等
- ・**無人移動体画像伝送システム**… 陸上移動局や携帯局の無線局免許が必要なもの(5.7GHz帯等を使用する【携帯局】の免許が必要なドローンの無線設備や、陸上移動局の無線局免許が必要なロボットや建設機械などもこのシステムに含まれます。)

② 第二級陸上特殊無線技士で操作可能な設備の例

- ・**衛星通信**… VSAT(ハブ局) 50ワットまで
- ・**陸上のレーダー**… 警察(速度違反取締り)・気象(気象観測)
- ・**路側通信**… 道路交通情報、ハイウェイラジオ(1620kHz、1629kHz)
- ・**コミュニティFM局**… コミュニティFM放送局(送信電力 20ワットの局等)

③ 第一級陸上特殊無線技士で操作可能な設備の例

- ・**衛星通信**… SNG、放送番組の衛星への送出など(上り回線) 500ワットまで
- ・**マイクロ波多重無線回線**… パラボラアンテナを使用する多重無線回線
- ・**移動体通信の基地局**… 携帯電話基地局等

<操作範囲について 参考>

※「空中線電力」とは、電波の送信電力(送信機出力の電力)です。

※「陸上の無線局」には、海岸局、海岸地球局、船舶局、船舶地球局、航空局、航空地球局、航空機局、航空機地球局、無線航行局、基幹放送局、アマチュア局は含まれません。

※「技術操作」とは、電波を発射・停止する操作とお考えください。

※陸上に開設した無線局(海岸局、航空局、船上通信局、無線航行局及び海岸地球局並びに航空地球局(航空機の安全運航・正常運行に関する通信を行うものを除く。))の通信操作(マイクで話す等)については、無線従事者資格を要しない簡易な操作とされています(電波法施行規則第 33 条)。

#### ご参考

また、「第一級陸上特殊無線技士」の資格を取得することにより、操作範囲とは別に「登録検査等事業者」の「点検員」になることができます(登録検査等事業者にて点検員の登録が必要です)。また、総務省の「技適未取得機器を用いた実験等の特例制度」において、無線設備が、相当技術基準及び電波法第三章に定める技術基準に適合している旨の確認を行う無線従事者となることもできます(令和元年総務省告示第 265 号)。

以上